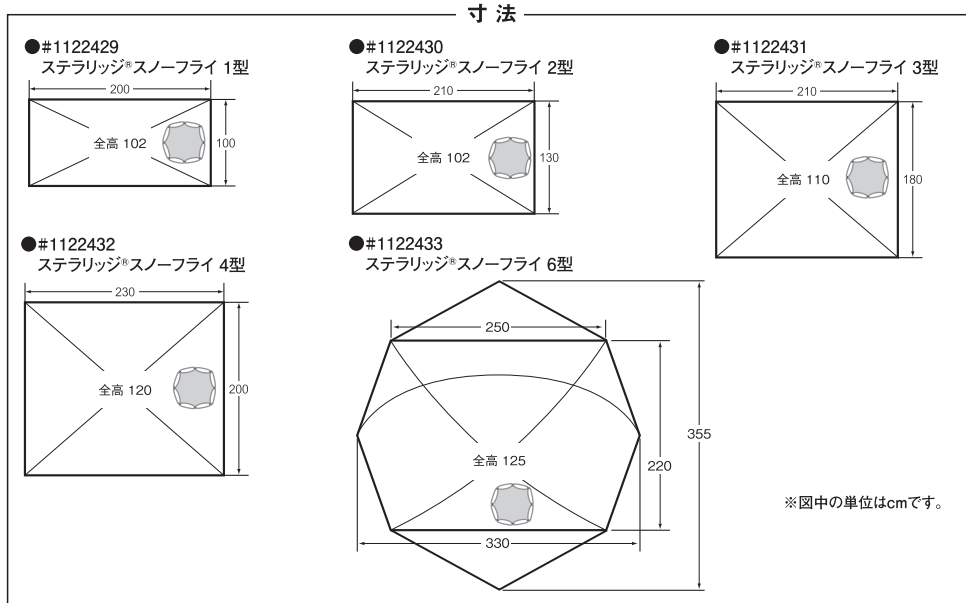


Stellaridge® Snow Fry Sheet 1,2,3,4,6



アフターケア

間違ったメンテナンスや保管方法はテントの寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

お手入れ方法・保管方法

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干しして乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置するとカビの発生する可能性があります。また生地も劣化しやすくなります。
- 長期の使用により、フライシートやフロアなどの撥水性能(水を弾く力)が低下した場合は別売のS.R. スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、別売のスムースライダー™やローソクのロウを塗ると回復します。
- ボールやペグは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。

長期間使用しない時の保管方法

- テント本体を長期間使用せずに保管する場合は、なるべくゆるくたたみ、風通しの良い場所に保管してください。付属の収納袋は、携行性を重視しているため、きつめにたたまないで入らないので使用を避けてください。

安全上のご注意

テントをご使用になる前に必ずお読みください。

テント使用上の注意

⚠ テント内やテント近くでは、絶対に火気を使用しないでください。

- 使用の際には必ずペグで固定してください。砂地や雪上では状況に応じたペグ等が別途必要です。
- ベンチレーターや出入り口などの換気パネルを常に開け、換気には充分ご注意ください。
- キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- 台風や、落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。
- テント設営地はできるだけ平坦地で、危険のない場所を選んでください。
- 本製品は太陽光線による紫外線劣化の影響がありますので、数ヶ月張ったまま放置しますと著しく寿命が縮まります。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。

モンベルでは品質管理に万全を期しておりますが、万一不良が生じた場合、お買い求めの販売店を通してご返送ください。無償修理、もしくは交換させていただきます。ただし間違ったご使用や、製品不良以外の原因による故障につきましては有償修理となります。

株式会社 **モンベル** 本社 〒550-0013 大阪市西区新町 2-2-2
 商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで
 Tel. 06-6531-3544 フリーコール： ☎ 0088-22-0031
 モンベルホームページ <http://www.montbell.jp>



ステラリッジテント® スノーフライシート 1,2,3,4,6型

積雪期に防寒防風性を高めるステラリッジ® テント専用のスノーフライ

※本製品にはステラリッジテント本体、ペグ、張り綱は付属していません。

この度は「ステラリッジ® スノーフライシート」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

この商品は積雪期に防寒、防風性を高めるステラリッジ専用の外張りです。

1型から4型はジッパーの凍結等のトラブルを防ぐため、出入口に吹き流し式を採用し、

6型は天候による使い分けを考えて前室後室をそれぞれジッパー式と吹き流し式に分けています。

多くのガイポイントと大きなスノースカートをもち、より確実なテントの固定を可能にしています。

素材は耐候劣化の少ない生地を使用し、要所には補強を施しています。

ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、部品等の確認をしてください。

なお、ご不明な点などございましたら、販売店もしくは弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

この説明書は大切に保管してください。

仕様

実際にテントをご使用になる前に部品の欠品が無いことをご確認ください。

構成部品および内容明細

本体



収納袋

取扱説明書(本書)



各パーツ仕様

【1型~6型】

- 本体:70デニール・ナイロン[通気撥水加工]
- 補強:420デニール・ナイロン

※ベグ、張り網は付属していません。

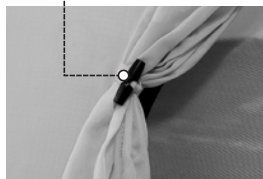
機能

ベンチレーター

中間部に芯を入れることによって開口部がふさがれることなく換気効率もアップさせたベンチレーター。

1,2,3,4型

グローブをつけたままでも操作しやすい大きめのトグル。



スノースカート

スノースカートはアイゼン等で傷つけやすい出入口部分と強風等により強い力が加わりやすいループ部分を420デニール・ナイロンで補強しています。

ベグダウン追加用ループ

標準装備以上のベグダウンが必要な場合は、紐などを用意していただき、このループに通してください。

フライコーナー

フライ本体のコーナーポケットには、万一ポール先端がグロメットからはずれてしまっても生地を破損させることのないように丈夫な420デニール・ナイロンの補強布をあてています。

ベグダウンループ

スノースカートにはベグダウンのための丈夫なナイロンテープをループ状に縫い付け、さらにコーナーと各辺の中間のテープにはピッケルなどを通すことのできる大きさのナイロンコードのループをセットしています。

一方のベンチレーターを下方に設けることで、空気が対流しやすくなっています(6型のみ)。

6型前面



6型後面



6型の前室はジッパーで開閉し、後室は吹き流しタイプを採用しています。

設営手順

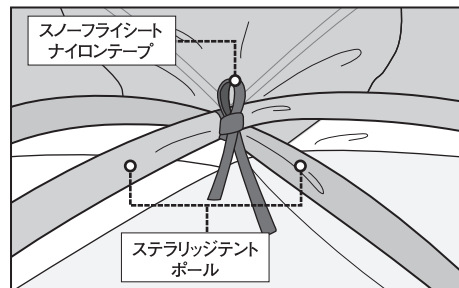
新しいテントに慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に、必ず試し張りを行ってください。

1・設営場所の選択

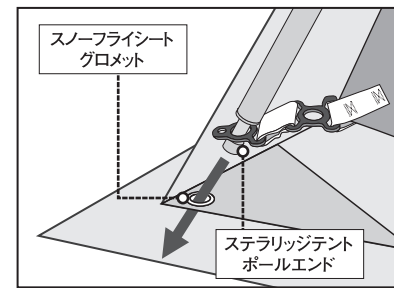
冬場にテントを設営される際は、雪崩・雪庇・吹雪等自然条件を十分に考慮した上で設営して下さい。設営後は強風に備え風上側に雪のブロック等で防風壁を作ってください。なお、設営前に出入口は風下側を選びます。冬場は北半球においては北西風が吹くことを考慮してください。

2・テントへの設置

(1) あらかじめ設営されたステラリッジテント(レインフライシートを除く)に出入口がずれないようにスノーフライシートをかぶせます。この際、スノーフライシート頂点内側のナイロンテープでテントのフレームの交点を結んでおくことでテントの剛性を高め、強風時の安定性を高めることができます。



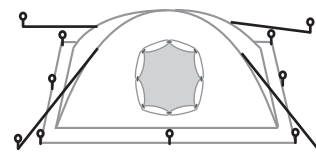
(2) テント本体のコーナーのポールエンドをフライのコーナーポケットにあるグロメット(鳩目)に通します。
※4カ所(1~4型) 8カ所(6型)



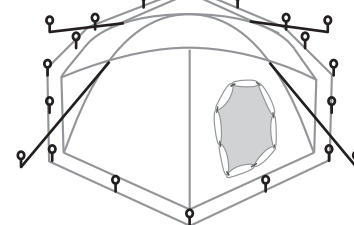
3・スノーフライシートの固定

(1) スノースカートに設けられたループにスノーベグやピッケルなどを通し、雪面に固定します(図A)。 ※コーナーと各辺の中間のテープにはピッケルなどを通すことのできる大きさのナイロンコードのループをセットしています。

(図A) 1,2,3,4型

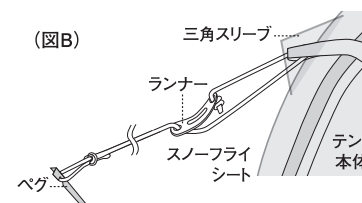


(図A) 6型



(2) フライシート4箇所の三角スリーブからテント本体の張り網を引き出して同様に雪面に固定し(図B)、スノースカートに雪を盛ってください。(この際アイゼンなどでスノースカートを傷つけないようにご注意ください。)

(図B)



※ベグを引き抜く際は直接手で握らずに張り網等を引き掛けて抜いてください。 ※雪上で使用される際はランナーを通したループをテント側にセットして使用します(雪上では張り網の末端は雪の中に埋めて使用されることが多いため)。(図B)

(3) 強風時にロープ等を用いてテントを外側から押さえつけられるよう、外側の頂点にはロープを設けています。(図C)

(図C)

